

- 問1 明治初期の社会情勢に関する統計において、1873（明治6）年の一揆の発生件数は100件を超え、前後の時期と比べて突出したピークを示しています。この時期に「血税一揆」と呼ばれる激しい抵抗運動が各地で発生した理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2015年 岐阜県公立入試 類似）
1. 兵役が「血税」という言葉で表現されたことを文字通りに誤解したほか、一家の貴重な働き手が奪われることへの負担感が強かったため
 2. 兵役の義務化と引き換えに、それまで免除されていた高額な所得税が農民の全世帯に一律で課されることと決定したため
 3. 徴兵令の施行によって武士の特権が完全に失われ、職を失った士族たちが農民を強制的に動員して全国的な反乱を組織したため
 4. 徴兵された者は外国との戦争に派遣されることが確定しており、当時の農民が海外への移住を極端に嫌ったため
- 問2 明治初期の職業の変化に関する資料によると、江戸時代から続いた通信手段である「飛脚」が急速に姿を消したことが示されています。このように、旧来の仕組みを廃止して新たに郵便制度を導入した目的や特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 国家による一元的な組織として整備し、距離に関わらず均一の料金で手紙を運ぶ仕組みを確立した。
 2. 飛脚を民間の運送会社として再編し、藩ごとに異なる料金体系で手紙を運ぶようにした。
 3. 蒸気船の普及に合わせて海上通信を優先するため、陸上での手紙の配達を一時的に制限した。
 4. 飛脚の組織をそのまま利用し、電話機を各家庭に普及させることで通信速度を向上させた。
- 問3 幕末から明治時代にかけて、欧米諸国の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家で、『学問のすゝめ』を著して個人の自立と実学の重要性を説いた人物は誰ですか。（2017年 群馬県公立入試 類似）
1. 中江兆民
 2. 福沢諭吉
 3. 吉田松陰
 4. 板垣退助
- 問4 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何とといいますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
1. 地券
 2. 口分田
 3. 検地帳
 4. 惣
- 問5 1871年に明治政府が行った、それまでの藩を廃止して新たに県を置くことで、中央政府が任命した府知事や県知事を派遣して地方を直接治める体制を整えた政策を何とといいますか。（2026年 青森県公立入試 類似）
1. 版籍奉還
 2. 徴兵令
 3. 廃藩置県
 4. 地租改正
- 問6 1868年に明治天皇が神に誓う形式で発表した、明治新政府の政治のあり方を示す基本方針を何とといいますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
1. 王政復古の号令
 2. 版籍奉還
 3. 五榜の掲示
 4. 五条の御誓文
- 問7 1875年から1900年にかけての明治政府の租税収入の推移に関する記述として、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。（2025年 山口県公立入試 類似）
1. 当初は地租の割合が低かったが、土地の測量が全国で完了した1890年代後半に、地租が政府収入のほぼ10%を占めるようになった。
 2. 1900年に近づくにつれて地租の総額が急激に減少したため、政府は地租を廃止して所得税を唯一の税目とした。
 3. 改革直後の時期は地租が政府収入の大部分を占めていたが、産業の発展に伴い、他の租税収入の割合が次第に増えていった。
 4. 期間を通じて地租が政府収入の唯一の財源であり続け、地租以外の租税が導入されたのは日露戦争以降のことである。
- 問8 地租改正が実施された後の経過について述べた文章のうち、正しいものはどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）
1. 納税方法が米に戻されたことで、農民の不満は解消された。
 2. 地租改正によってすべての農民が自分の土地を持つことができ、小作農はいなくなった。
 3. 物価が下落したため、現金を納める農民の負担は非常に軽くなった。
 4. 地価の3パーセントという税負担が重かったため、各地で反対一揆が起こり、のちに2.5パーセントに引き下げられた。
- 問9 「王政復古の号令」が発せられた背景や目的についての説明として、最も適切なものを次から選びなさい。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
1. 江戸幕府の第15代将軍が、討幕の口実をなくすために自ら進んで政権を朝廷に返上すること
 2. 明治天皇が神に誓う形式で、開国和親や公議世論の尊重といった新しい政治の基本方針を示すこと
 3. 徳川家を排除し、天皇を中心とする新政府を樹立するとともに、摂政や幕府などの古い制度を廃止すること
 4. 全国の藩主に土地と人民を天皇へ返還させ、地方統治の実権を新政府に一本化すること
- 問10 明治政府が土地所有者に地券を発行し、地価の3%（のちに2.5%）を現金で徴収する制度を整えた主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 土地の売買を禁止し、農民が土地を失って都市へ流入するのを防ぐため。
 2. 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。
 3. 封建的な土地所有を維持し、旧大名たちが引き続き領地を統治しやすくするため。
 4. 土地の所有権を政府が独占し、農民から耕作の権利を取り上げるため。
- 問11 1867年から1925年までの日本の近代化の過程を記した年表において、王政復古の号令から戊辰戦争の発生へと至る一連の動きが見られます。この戊辰戦争が勃発した背景や経緯についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
1. 新政府が行った地租改正や学制の導入に対し、生活が苦しくなった農民たちが各地で暴動を起こした。
 2. 明治新政府の徴兵令に反対した士族たちが、西郷隆盛を担いで鹿児島で大規模な反乱を起こした。
 3. 旧幕府軍が天皇の権威を否定し、徳川慶喜を再び将軍とする新たな幕府を江戸に開こうとした。
 4. 新政府が徳川氏を政治から排除しようとしたことに旧幕府側が反発し、京都での武力衝突をきっかけに全国へ広がった。
- 問12 明治時代初期に設立された富岡製糸場の役割や、当時の社会状況についての説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。なお、当時の記録には山口県など遠方の地域からも技術を学ぶために若者が派遣されていたことが示されています。（2023年 山口県公立入試 類似）
1. 足尾での鉱毒問題を受け、環境汚染を防ぎながら銅を効率的に生産するための最新設備を備えた工場として稼働した
 2. 政府の直接管理により、伝統的な手作業による製糸技術を保存し、国内向けに高級な絹織物を供給し続けた
 3. フランスの技術と機械を導入し、全国から集まった工女たちが技術を習得して、各地の製糸業の指導者となった
 4. ドイツの技術を導入して北九州に建設され、鉄鋼の自給自足を目指すとともに、日本の重工業化の先駆けとなった

答え合わせ・解説

問1	答え 1 兵役が「血税」という言葉で表現されたことを文字通りに誤解したほか、一家の貴重な働き手が奪われることへの負担感が強かったため	1873年に公布された徴兵令は、満20歳以上の男子に兵役を義務付けるものでした。当時の農村にとって、働き手である若者が数年間にわたって家を離れることは、農業経営に深刻な影響を及ぼす重い負担と認識されました。また、法令の布告文にあった「血税」という比喻表現を、文字通り「生血を抜き取られる」と誤解した農民たちの不安と恐怖が重なり、各地で激しい反対運動が発生しました。統計で1873年の一揆件数が突出しているのは、この徴兵令や地租改正といった新制度への反発が集中したためです。
問2	答え 1 国家による一元的な組織として整備し、距離に関わらず均一の料金で手紙を運ぶ仕組みを確立した。	明治政府は中央集権化を進める過程で、情報の伝達を国家が管理・保証する必要があると考えました。それまでの飛脚は距離や難易度で料金が異なる不定期なものでしたが、郵便制度の導入により、全国一律の安い料金で確実な通信が可能になり、近代的な社会の形成に大きく寄与しました。
問3	答え 2 福沢諭吉	封建的な身分制度を批判し、一人ひとりが学問に励んで自立することが国家の独立につながると説きました。慶應義塾の創設者としても知られ、当時の日本に合理的な西洋の考え方を広める大きな役割を果たしました。
問4	答え 1 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問5	答え 3 廃藩置県	明治政府が地方統治の仕組みを根本から変えた政策です。1869年の版籍奉還では旧藩主がそのまま知事（知藩事）に任命されていましたが、これでは中央政府の命令が全国に届きにくかったため、1871年に藩そのものを廃止して、政府が直接官吏を派遣する仕組みへと移行しました。
問6	答え 4 五条の御誓文	戊辰戦争の最中である1868年3月に発表されました。これまでの古い習慣を破り、広く世界に知識を求めることや、天皇が神に誓う形で国民に新しい国家建設の決意を示す内容となりました。明治新政府はこの方針に基づき、近代化を推し進めていくことになります。
問7	答え 3 改革直後の時期は地租が政府収入の大部分を占めていたが、産業の発展に伴い、他の租税収入の割合が次第に増えていった。	地租改正が実施された直後の明治政府において、地租は租税収入の約8割から9割を占める最大の財源でした。しかし、その後の資本主義の発達や産業の近代化によって、酒税や所得税といった他の税目による収入が増加したため、政府収入全体における地租の占める割合は相対的に低下していくことになりました。
問8	答え 4 地価の3パーセントという税負担が重かったため、各地で反対一揆が起り、のちに2.5パーセントに引き下げられた。	地租改正によって設定された「地価の3%」という税率は、江戸時代の年貢と変わらないほど重い負担でした。これに反対する農民たちが各地で激しい「地租改正反対一揆」を起こしたため、明治政府は1877年に税率を2.5%に引き下げる措置をとりました。このように、制度の導入には民衆の強い抵抗が伴いました。
問9	答え 3 徳川家を排除し、天皇を中心とする新政府を樹立するとともに、摂政や幕府などの古い制度を廃止すること	王政復古の大号令は、徳川慶喜による大政奉還の直後に出されました。その目的は、幕府だけでなく摂政・関白などの旧来の職を廃止し、総裁・議定・参与の「三職」を新たに置くことで、徳川家の影響力を完全に排除した新政府の体制を整えることにありました。
問10	答え 2 政府の収入を豊作や不作に関わらず一定にし、国家財政を安定させるため。	明治政府が近代国家としての基盤を固めるためには、軍備の増強や産業の育成（富国強兵・殖産興業）に必要な資金を安定して得る必要がありました。収穫高ではなく地価を基準とした金納制度を導入することで、毎年予算を立てやすくし、確実な財政運営を行うことが地租改正の大きな目的でした。
問11	答え 4 新政府が徳川氏を政治から排除しようとしたことに旧幕府側が反発し、京都での武力衝突をきっかけに全国へ広がった。	王政復古の大号令によって成立した新政府は、徳川氏に対して官職の辞退や領地の返納を命じ、政治的な実権を奪おうとしました。これに激しく反発した旧幕府側の勢力が、1868年に京都の鳥羽・伏見で新政府軍と衝突したことで戊辰戦争が始まりました。戦いは東北、そして北海道の五稜郭へと移り、新政府が全国を統一するまで続きました。土族の反乱である西南戦争や、農民による一揆とは発生の目的や勢力図が異なります。
問12	答え 3 フランスの技術と機械を導入し、全国から集まった工女たちが技術を習得して、各地の製糸業の指導者となった	富岡製糸場は、単に生糸を生産するだけでなく、全国から土族の娘などの工女を集め、最新の機械製糸技術を教育する「模範工場」としての役割を担いました。ここで技術を学んだ工女たちが、故郷に戻って地元の製糸工場の指導者となることで、日本全体の生糸の品質と生産力が向上しました。選択肢にある重工業化や鉱毒対策は、後の時代の出来事や異なる施設に関する記述です。

- 問1 明治政府が1872年に発布した、日本で最初の近代的な学校制度を定めた法令の名称として正しいものを選択してください。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|---------|
| 1. 学制 | 2. 教育基本法 | 3. 学校令 | 4. 教育勅語 |
|-------|----------|--------|---------|
- 問2 1868年から1869年にかけて行われた戊辰戦争の経過について述べた次の文のうち、その終結に至るまでの説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 五街道の起点であり政治の中心地であった江戸において、江戸城が無血開城された時点で戦争の全行程が完了した。 | 2. 「天下の台所」と呼ばれた大坂にある大阪城が落城したことをもって、新政府軍に対する旧幕府軍の抵抗はすべて終了した。 | 3. 琵琶湖のほとりに築かれた安土城が戦いの舞台となり、新政府軍が旧幕府軍を完全に圧倒したことで戦争が終結した。 | 4. 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。 |
|---|---|--|---|
- 問3 1872年に鉄道が開通した当時、明治政府は産業の育成（殖産興業）にも力を入れていました。鉄道が開通したのと同じ年に操業を開始した、赤レンガ造りの建物と蒸気機関の煙突を特徴とする、群馬県に設置された官営模範工場の名称を答えてください。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 長崎造船所 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 大阪砲兵工廠 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問4 幕末から明治維新にかけての政治的な動きについて、土佐藩出身の坂本龍馬らが仲介役となり、それまで対立していた薩摩藩と長州藩が結んだ軍事同盟を何といいますか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 大政奉還 | 3. 薩長同盟 | 4. 五箇条の御誓文 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問5 明治政府が「文明開化」という社会現象を後押しし、急速な西洋化を進めた大きな目的は何ですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|------------------------------------|
| 1. 農業を国の中心産業に据え、農民の生活を安定させて一揆を防ぐため。 | 2. 隣接するアジア諸国との友好関係を深め、東アジア共通の文化圏を創るため。 | 3. 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 江戸時代の伝統文化を完全に消し去り、天皇の権威を否定するため。 |
|-------------------------------------|--|---|------------------------------------|
- 問6 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 2. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 3. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 | 4. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問7 18世紀後半から19世紀にかけてのイギリスでは、技術革新によって社会が大きく変容しました。この時期、綿織物の大量生産を可能にし、のちに鉄道などの交通機関にも利用された動力源と、その主な燃料の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------|------------|------------|
| 1. 電気モーターと天然ガス | 2. 水車と薪 | 3. 蒸気機関と石炭 | 4. 内燃機関と石油 |
|----------------|---------|------------|------------|
- 問8 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|------|
| 1. 検地帳 | 2. 地券 | 3. 口分田 | 4. 惣 |
|--------|-------|--------|------|
- 問9 明治政府は、欧米の先進的な技術や学問、制度を迅速に取り入れることで国家の近代化を目指しました。このとき、当時の日本人の給与に比べて非常に高い給与を支払って、海外から招いた専門家のことを何と呼びますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|
| 1. お雇い外国人 | 2. 文明開化 | 3. 遣外使節 | 4. 開拓使 |
|-----------|---------|---------|--------|
- 問10 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 2. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 | 3. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 4. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問11 明治政府が地租改正を行い、税を収穫高ではなく「地価」を基準に、米ではなく「貨幣」で納めさせるようにした最大の目的は何ですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 農村における米の消費量を増やし、自給自足を促すため | 2. 米の価格の変動を抑え、農民の生活を保護するため | 3. 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため | 4. 土地の所有権を政府に集約し、国有地を拡大するため |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
- 問12 明治初期の東京において、人口が一時的に100万人から60万人規模まで減少した現象に関わり、当時の社会制度の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 江戸から東京への改称に伴い、旧幕府に関係していた全ての居住者が都市部から追放される法令が出された。 | 2. 版籍奉還によって土地と人民が天皇に返還された際、東京の住民はすべて強制的に出身地へ帰された。 | 3. 武士が特権を失ったため、新たな職業を求めて北海道の開拓に従事する土族授産が東京の全人口の半数に適用された。 | 4. 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。 |
|--|---|--|---|
- 問13 明治政府が租税制度を改革し、地価を基準とした一定額の現金を徴収する仕組みを整えた最大の目的は何か。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を手放さないようにするため | 2. 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため | 3. 米の市場価格を政府がコントロールし、物価の安定を図るため | 4. 農村の貧富の差をなくし、すべての農民の負担を均等にするため |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問14 明治新政府が1868年に発表した五箇条の御誓文において、「広く会議ヲ興シ、万機公論ニ決スベシ」という一文を盛り込んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 江戸幕府の旧来の制度をそのまま引き継ぎ、将軍が中心となって政治を行うことを宣言するため | 2. 天皇がすべての政治判断を一人で行い、国民はそれに従うだけでよいという強い権威を示すため | 3. 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから | 4. 外国との不平等条約を直ちに破棄し、再び鎖国体制に戻ることを国内外に知らせるため |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 学制	明治政府は、欧米列強に並ぶ「富国強兵」を実現するためには国民の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年にこの法令を発布しました。「国民皆学」を掲げ、身分や性別に関係なくすべての国民が小学校教育を受けることを目指したものです。教育勅語は1890年に発布された教育の指針であり、教育基本法は第二次世界大戦後に制定された法律です。
問2	答え 4 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。	戊辰戦争は1868年、京都での鳥羽・伏見の戦いから始まりました。その後、戦いの舞台は東日本へと移り、江戸の無血開城や東北地方での会津戦争などを経て、最終的には北海道の函館にある五稜郭に立てこもった旧幕府軍が降伏するまで続きました。この五稜郭での戦いが、明治維新に伴う国内最大の内戦の終わりを意味しています。
問3	答え 3 富岡製糸場	明治政府は外貨を獲得するために、主要な輸出品であった生糸の品質向上と増産を目指しました。そこでフランスの技術を導入し、1872年に群馬県に富岡製糸場を設立しました。当時の最新技術の象徴である赤レンガ造りの建物は、鉄道の開通とともに日本の近代化を象徴する出来事でした。
問4	答え 3 薩長同盟	1866年、長年対立していた薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって提携しました。この軍事同盟が成立したことで、倒幕勢力が一気に結集し、武力による幕府打倒の動きが現実的なものとなりました。
問5	答え 3 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は最大の外交課題でした。政府は、日本の制度や生活様式が欧米並みに近代化されていることを証明することで、対等な立場での条約交渉を目指しました。そのため、鹿鳴館（ろくめいかん）を建設して外国使節を接待するなど、形の上での西洋化も重視されました。
問6	答え 4 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問7	答え 3 蒸気機関と石炭	産業革命期のイギリスでは、ワットらによって改良された蒸気機関が普及し、それまでの水力や人力を上回る圧倒的な動力を得ることが可能になりました。この蒸気機関を動かすための主要なエネルギー源として石炭が大量に採掘され、工業化の進展を支えました。この動きは綿工業から始まり、のちに製鉄業や鉄道、蒸気船といった交通の分野へも広がっていきました。
問8	答え 2 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問9	答え 1 お雇い外国人	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代的な国家をつくるため、軍事、建築、教育、医学、法制など幅広い分野で指導者を招きました。彼らの指導は日本の近代化に大きく貢献しましたが、政府の予算において大きな負担となったため、日本人の技術者や専門家の育成が進むにつれて、次第に日本人へと交代していきました。
問10	答え 2 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問11	答え 3 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫高に応じて決まっていたため、凶作の年には政府の収入が激減し、国家予算を立てることが困難でした。地価に応じた一定額を貨幣で徴収する地租改正により、政府は気候や作柄に左右されることなく、計画的で安定した国家収入を得ることが可能になりました。
問12	答え 4 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。	江戸時代の東京（江戸）は、参勤交代制度によって全国の大名やその家臣が集まる政治の中心地として人口が膨れ上がっていました。しかし、明治維新後の廃藩置県によって、それまでの藩という枠組みが消滅し、武士たちは東京に留まる公的な理由を失いました。これにより、多くの武士が家族を連れて自らの領地や故郷へ引き揚げたことが、当時の統計における急激な人口減の直接的な理由です。
問13	答え 2 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める額が決まる「取箇（とりか）」の仕組みだったため、不作の年は政府の収入が激減するという課題がありました。地租改正によって、収穫高に関わらず「地価」という固定された基準に基づいて「現金」で納税させる仕組みに改めたことで、政府は国家予算を計画的に立てることが可能になりました。
問14	答え 3 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから	明治新政府は発足したばかりで基盤が不安定だったため、幕府を倒した有力な藩だけでなく、全国の諸藩の協力を得る必要がありました。そのため、一部の勢力が勝手に物事を決めるのではなく、「万機公論」すなわち開かれた議論によって政治を進めるという方針を打ち出すことで、国民や諸藩の支持を得ようとしたのです。これが後の自由民権運動において、議会の開設を求める根拠の一つにもなりました。

- 問1 北海道函館市に位置し、大砲による攻撃への死角をなくするために西洋の築城技術を採用入れて築かれた星型の城郭があります。この城郭が、戊辰戦争の最終局面において旧幕府軍の拠点となった戦いを何といいますか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 鳥羽・伏見の戦い 2. 西南戦争 3. 会津戦争 4. 箱館戦争
- 問2 1871年に派遣された岩倉使節団が、欧米諸国を訪れた本来の目的と、その後の活動内容についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。 2. ロシアの南下政策に対抗するため、イギリスやフランスとの軍事同盟の締結を最優先すること。 3. 鎖国を継続するために、欧米諸国に対して開国を拒否する旨の親書を届けること。 4. 欧米諸国の植民地支配の仕組みを学び、アジア諸国へ進出するための軍事拠点を視察すること。
- 問3 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 上野と熊谷の間 2. 新橋と横浜の間 3. 京都と神戸の間 4. 日本橋と浦賀の間
- 問4 明治政府が財政を安定させるために行った地租改正の内容として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 土地の耕作者に地券を発行して所有権を認め、収穫高の3%を税として現金で納めさせた。 2. 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として現金で納めさせた。 3. 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として米で納めさせた。 4. すべての小作人に土地を分け与えて地券を発行し、売上の3%を税として現金で納めさせた。
- 問5 明治政府は、西洋の進んだ技術を取り入れて国力を高める「殖産興業」の政策を推進しました。その象徴的な出来事として、1872年に日本で最初の鉄道が東京の新橋との間で開通した都市はどこですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 長崎 2. 神戸 3. 新潟 4. 横浜
- 問6 明治維新の過程において、1866年の薩長同盟を経て新政府が成立したのち、政府は中央集権化を進めるために土地と人民を天皇に返還させました。この際、それまでの藩主は新たにどのような役職に任命されましたか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 鎮守府將軍 2. 太政大臣 3. 知藩事 4. 県知事
- 問7 イギリスなどの諸国では民間資本の蓄積によって自然発生的に産業革命が進展しましたが、明治時代の日本においては、欧米列強に対抗するために政府が主導して近代産業を育成し、軍事力を強化する方針がとられました。このように、日本における産業革命の直接的なきっかけとなった、国力を蓄え軍隊を強くすることを目指した一連の政策を何といいますか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 土農工商・地租改正政策 2. 文明開化・版籍奉還政策 3. 富国強兵・殖産興業政策 4. ニューディール政策
- 問8 1868年から翌年にかけて日本国内で展開された戊辰戦争の経緯について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天皇から政治の権限を返された徳川慶喜が、再び政権を握るために諸外国の軍隊を呼び寄せた。 2. ベリーの来航をきっかけとして、全国の諸藩が協力して江戸幕府を倒すために軍を動かしした。 3. 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。 4. 鹿児島県の土族を中心とした勢力が、徴兵制に反対して新政府軍に対して大規模な反乱を起こした。
- 問9 明治維新後の教育制度の整備に関連して、岩倉使節団に同行した女子留学生の一人である津田梅子の活動について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日露戦争の際に「君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、反戦を訴えた。 2. 女性の地位向上のために雑誌『青鞜』を発刊し、平塚らいてうらと運動を進めた。 3. 英語教育を通じて女性の自立を促すため、私立の女子英学塾を設立した。 4. 『たけくらべ』などの小説を執筆し、日本近代文学における女性作家の先駆けとなった。
- 問10 1873年（明治6年）から実施された地租改正において、税額を算出する基準と納税の方法はどのように定められましたか。正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. その年の収穫量を基準とし、現金で納める方式 2. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式 3. 土地の価格（地価）を基準とし、米で納める方式 4. その年の収穫量を基準とし、米で納める方式
- 問11 明治維新の初期に行われた政治改革の年表において、1869年の「版籍奉還」に続き、1871年には藩を廃止して県を置く大規模な改革が実施されました。この一連の改革によって、地方の統治権を天皇を中心とする政府に統合した政治体制を何と呼びますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 封建体制 2. 中央集権体制 3. 地方分権体制 4. 幕藩体制
- 問12 明治政府が実施した地租改正において、それまでの年貢（租税）の仕組みから大きく変更された点として正しい説明を選んでください。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 2. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。 3. 課税の基準を土地の面積から収穫高に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。 4. 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地を耕作している小作人が米を納めるようにした。
- 問13 明治維新後の新政府において、1868年から翌年にかけて兵庫運上所（現在の神戸税関）の長官を務めた経歴を持ち、その後1885年に内閣制度が確立された際、初代内閣総理大臣に就任した政治家は誰ですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 大久保利通 2. 福沢諭吉 3. 伊藤博文 4. 板垣退助
- 問14 1871年に明治政府が欧米へ派遣した、当時の新聞記事において「右大臣を大使とする大規模な使節団」と報じられた使節団の名称と、その特命全権大使を務めた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 遣欧使節団 ― 福沢諭吉 2. 征韓使節団 ― 西郷隆盛 3. 欧米視察団 ― 伊藤博文 4. 岩倉使節団 ― 岩倉具視

答え合わせ・解説

問1	答え 4 箱館戦争	江戸時代末期に完成した五稜郭は、その名の通り星型の形状をした城郭です。1868年に始まった一連の戊辰戦争の最後を締めくくる戦いである箱館戦争において、榎本武揚ら旧幕府軍がこの場所を拠点として新政府軍に抵抗しましたが、1869年に降伏しました。これにより明治政府による国内統一が完成しました。
問2	答え 1 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。	明治政府にとって、領事裁判権の容認や関税自主権の欠如といった不平等条約を改正することは、近代国家としての地位を確立するための最優先課題でした。当初は条約改正の交渉を主な目的として出発しましたが、欧米の国力や法制度の差を目の当たりにしたことで、まずは国内の近代化を急ぐ必要があると痛感し、各地の制度や産業の視察に重きを置くようになりました。
問3	答え 2 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問4	答え 2 土地の所有者に地券を発行して所有権を認め、地価の3%を税として現金で納めさせた。	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。この改革では、土地の所有者に「地券」を交付して所有権を明確に認めた上で、収穫高ではなく「地価（土地の価格）」を基準にし、さらに米ではなく「現金」で納税させる仕組みを整えました。これにより、農作物の豊凶に関わらず政府は一定の税収を得ることが可能になりました。
問5	答え 4 横浜	明治政府は近代化を急ぐため、イギリスの技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年（明治5年）に新橋・横浜間で日本初の鉄道が営業を開始したことは、人々の生活や意識が西洋風に変化する「文明開化」を象徴する出来事となりました。横浜は当時、海外への玄関口となる開港場として重要な役割を担っていました。
問6	答え 3 知藩事	版籍奉還が行われた際、旧藩主たちはその地位を直ちに失ったわけではなく、政府から「知藩事」という役職に任命されました。これにより、藩主は従来の世襲による支配者ではなく、政府の官吏として藩の統治を行う形をとりました。しかし、この仕組みでは中央集権化が不十分であったため、1871年に藩そのものを廃止して県を置く廃藩置県が断行されることになりました。
問7	答え 3 富国強兵・殖産興業政策	明治政府は、欧米列強による植民地化の脅威に対抗し、日本を近代的な中央集権国家にするために「富国強兵」をスローガンに掲げました。その具体的な手段として、鉄道の敷設や通信網の整備、富岡製糸場に代表される官営模範工場の設立などを行い、資本主義の育成を図る「殖産興業」を推進しました。こうした政府主導の強力な介入が、日本における産業革命を短期間で達成させる原動力となりました。
問8	答え 3 鳥羽・伏見の戦いで始まった新政府軍と旧幕府軍の戦いは、翌年に旧幕府軍の敗北で終結した。	戊辰戦争は、京都での鳥羽・伏見の戦いを皮切りに、北陸、東北、そして北海道へと戦地が移り変わっていききました。この戦争を通じて、薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍が、旧幕府軍やそれに同調する諸藩を制圧し、明治維新を推し進める基盤を固めました。選択肢にある「鹿児島県の土族による反乱」は、明治時代中期に起こった西南戦争の説明です。
問9	答え 3 英語教育を通じて女性の自立を促すため、私立の女子英学塾を設立した。	津田梅子はアメリカ留学で得た知識や経験を活かし、当時の日本では遅れていた女子の専門教育に尽力しました。特に英語教育を重視したのは、女性が国際的な視野を持ち、社会で自立することを目指したためです。他の選択肢にある雑誌『青鞥』は平塚らいてう、反戦詩は与謝野晶子、近代文学は樋口一葉の業績であり、時代背景や活動分野が異なります。
問10	答え 2 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める方式	明治政府は近代国家の運営資金を確保するため、従来の年貢制度を根本から改めました。土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、収穫量ではなく土地そのものの価値である「地価」を課税基準とし、その3%（のちに2.5%）を現金で納めさせる仕組みを整えました。
問11	答え 2 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、それまで各藩の領主（大名）が持っていた統治権を中央政府に集約する必要がありました。1871年の廃藩置県により、全国の土地と人民を政府が直接支配する仕組みが整い、中央集権体制が確立されました。
問12	答え 1 課税の基準を収穫高から地価に変更し、土地の所有者が現金を納めるようにした。	明治政府は、天候や作柄によって税収が変動する不安定な状況を解消し、国家予算を安定させる必要がありました。そのため、土地の価値（地価）を基準に税額を固定し、さらに市場価格の影響を受けないよう、米による物納ではなく現金で納めさせる仕組みを整えました。この際、土地の所有権を認める「地券」が発行され、納税義務者は耕作人ではなく土地の所有者と定められました。
問13	答え 3 伊藤博文	幕末に長州藩士として活動し、イギリス留学を経て国際的な感覚を身につけた人物です。明治新政府では、開港地である神戸で兵庫運上所（税関）のトップを務めるなど、外交や実務の経験を積みました。その後、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後はドイツ（プロイセン）の憲法を参考に大日本帝国憲法の起草に尽力しました。1885年には最高行政機関である内閣を組織し、初代の内閣総理大臣に就任しています。
問14	答え 4 岩倉使節団 ― 岩倉具視	明治政府は1871年、廃藩置県によって国内体制を整えた後、直ちに大規模な使節団を欧米へ派遣しました。この使節団の中心となったのは、当時の政府の要職である右大臣を務めていた岩倉具視です。これには木戸孝允や大久保利通といった政府の重要人物も多数同行し、約1年10ヶ月にわたって諸国を巡りました。選択肢にある西郷隆盛や板垣退助などは、使節団の留守中に国内の政治を担う「留守政府」として日本に残っていました。

類似)

類似)

(2024年 宮崎県公立入試 類似)

(2017年 愛知県公立入試 類似)

(2017年 千葉県公立入試 類似)

(2026年 神奈川県公立入試 類似)

(2019年 大分県公立入試 類似)

岡山県公立入試 類似)

岡山県公立入試 類似)

(2020年 熊本県公立入試 類似)

(2018年 奈良県公立入試 類似)

(2018年 和歌山県公立入試 類似)

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 西南戦争	九州地方を中心とした一連の不平士族の反乱の中で、最大の規模となったのが1877年の西南戦争です。維新の功労者であった西郷隆盛を担ぎ出したこの戦争が政府軍（徴兵制による軍隊）によって鎮圧されたことで、武力による新政府への抵抗は終わりを告げました。以後の反政府運動は、言論によって国会の開設などを求める「自由民権運動」へと主流が移っていくこととなります。
問2	答え 1 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価値である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問3	答え 1 政権を返上しても、有力大名による会議の議長として実質的な主導権を維持できると考えていたが、倒幕派による武力背景の宣言により排除された。	徳川慶喜は大政奉還を行っても、当時の朝廷には政権を運営する能力がないため、結局は有力大名による連合政権（公議政体）が作られ、そのトップとして自分が君臨し続けられると計算していました。しかし、徳川家を排除した新政府の樹立を目指す薩摩・長州ら倒幕派は、クーデターによって王政復古の大号令を断行し、慶喜の政治参加を拒む体制を強引に作り上げました。この権力争いが、のちの戊辰戦争へとつながる要因となりました。
問4	答え 3 地価の3パーセントとしていた地租の税率を、2.5パーセントに引き下げた。	地租改正による税負担は、江戸時代の年貢と変わらないほど重いものでした。そのため、1876年（明治9年）を中心に各地で激しい反対一揆が起きました。当時の政府は士族の反乱なども抱えていたため、不満を和らげるために1877年に税率を3パーセントから2.5パーセントへ引き下げました。
問5	答え 1 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問6	答え 4 天候や米の価格変動に左右されず、政府が安定した予算を立てられるようにするため。	江戸時代の年貢（米納）は、その年の収穫量や米の市場価格によって政府の収入が大きく変動するという欠点がありました。近代化を進める明治政府にとって、軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）には計画的な予算編成が不可欠でした。そのため、土地の価値（地価）に基づいた一定額の現金を徴収することで、作柄に関わらず毎年決まった額の税収を確保できる仕組みを整えたのです。これが地租改正の最も重要な目的でした。
問7	答え 4 領事裁判権	日朝修好条規は、江華島事件を契機に日本が軍事的な圧力をかけて朝鮮に結ばせた不平等条約です。条文の第10款には、日本人が朝鮮で罪を犯した場合に日本の領事が裁判を行う権利が明記されました。これは、かつて幕末に日本が欧米諸国との間で結ばされた不平等条約の内容（治外法権）を、今度は日本が朝鮮に対して一方的に押し付けたことを意味しています。
問8	答え 2 徴兵令	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を作るために「富国強兵」を掲げました。その一環として、それまで武士の役割であった軍務を国民の義務とするため、1873（明治6）年に徴兵令を発布しました。これにより、身分に関わらず満20歳以上の男子は兵役に従事することとなりました。
問9	答え 3 近代的な軍隊を組織するために、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役を義務づけたが、農村では働き手を失う不満から反対一揆も発生した。	徴兵令は、国民の三大義務の一つとして位置づけられましたが、実際には家を継ぐ者や代金を支払った者が免除される規定（のちに廃止）があったり、農村の労働力が奪われることへの反発から「血税一揆」と呼ばれる激しい反対運動が起きたりするなど、制度の定着には困難が伴いました。裁判員制度や教育基本法は、それぞれ戦後や現代の制度・法律であり、明治初期の徴兵令とは関係がありません。
問10	答え 3 学制が発布され、小学校での教育が開始された	1872年は日本の近代化において極めて重要な年です。鉄道の開通と同じ年に、政府は「学制」を発布し、身分や性別に関わりなく教育を受けさせる近代的な教育制度をスタートさせました。なお、富岡製糸場の設立も同年ですが、選択肢の中で「教育」の側面から近代化を支えた制度として学制が挙げられます。廃藩置県は1871年、徴兵令は1873年の出来事です。
問11	答え 2 国民皆兵を原則として、身分を問わず広く兵員を確保することで近代的な軍隊を組織しようとした。	明治維新における四民平等の考えに基づき、軍隊の構成を特定の身分から国民全体へと広げる「国民皆兵」が目指されました。これにより、江戸時代の武士中心の兵制から脱却し、近代的な軍事制度が確立されました。一方で、貴重な労働力を奪われる農民の間では、血税一揆と呼ばれる反対運動も発生しました。
問12	答え 4 王政復古の大号令を発し、幕府の廃止と新政府の成立を宣言した	徳川家が政治から完全に退くことを目的として発せられた命令です。この宣言と同日の夜には、徳川慶喜に対して官職の辞任と領地の返上（辞官納地）を求める小御所会議が開かれ、旧幕府勢力と新政府軍が激突する戊辰戦争のきっかけとなりました。

- 問1 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
1. 地券 2. 惣 3. 検地帳 4. 口分田
- 問2 明治新政府が発表した基本方針である五箇条の御誓文の第一条には、「広ク（X）ヲ興シ、万機（Y）ニ決スベシ」という一節があります。当時の史料に基づき、空欄（X）と（Y）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. X：政党、Y：国会 2. X：文明、Y：教育 3. X：民撰議院、Y：選挙 4. X：会議、Y：公論
- 問3 明治初期の政府内では、日本との正式な国交を拒んでいた朝鮮に対し、武力を用いてでも開国を迫るべきだとする主張が生まれました。この主張を何といいますか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 尊王攘夷 2. 文明開化 3. 地租改正 4. 征韓論
- 問4 1870年代の日本において、朝鮮に対して武力による開国を主張する意見が退けられた結果、当時の政治状況にどのような影響を与えましたか。その後の展開として正しい説明を選びなさい。（2023年 石川県公立入試 類似）
1. 岩倉使節団の帰国組と留守政府組の妥協案として、蝦夷地の開拓に力を入れる「屯田兵」の制度が即座に廃止された。 2. 政府の方針が武力行使に一本化され、直ちに清との間で日清修好条規を締結し、共同で朝鮮への進出を開始した。 3. 主張が認められなかった西郷隆盛や板垣退助らが政府を去り、のちの不平士族の反乱や自由民権運動へとつながった。 4. この対立をきっかけに、明治天皇による「五箇条の御誓文」が發布され、議会政治の早期実現が約束された。
- 問5 明治政府は近代国家の建設を進める中で、1872年に琉球藩を置き、1879年には武力を背景にこれを廃止して新たな県を設置しました。この一連の政策を「琉球処分」といいますが、このとき設置された県として正しいものを選んでください。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 沖縄県 2. 山口県 3. 鹿児島県 4. 長崎県
- 問6 明治政府が近代国家建設の財源を安定させるために行った税制改革において、それまでの江戸時代の年貢制度と比較したときの特徴として正しい説明はどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）
1. 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を現金から米に改めた。 2. 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を米から現金に改めた。 3. 基準を土地の面積から収穫量に変更し、納める方法を米から現金に改めた。 4. 基準を土地の面積から地価に変更し、納める方法を現金から労働力に改めた。
- 問7 1868年は、江戸幕府が滅亡し明治政府が樹立された「明治元年」にあたります。この1868年は西暦で何世紀に含まれますか。（2019年 福島県公立入試 類似）
1. 20世紀 2. 17世紀 3. 18世紀 4. 19世紀
- 問8 明治初期の地方統治に関する次の記述のうち、廃藩置県の説明として正しいものはどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）
1. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織した。 2. 大名が土地と人民を天皇に返還し、自らは知藩事として旧領地を治めた。 3. 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。 4. 土地の価格を基準に、地主に対して現金で税を納めさせる制度を確立した。
- 問9 明治政府が行った地租改正について説明した文として、江戸時代の年貢の仕組み（収穫高を基準とし、現物で納める方式）と比較して正しいものはどれですか。（2019年 香川県公立入試 類似）
1. 土地の価格である地価を基準とし、地主が税を現金で納めるようにした。 2. 村ごとの予想収穫量を基準とし、村全体でまとめて米を納めるようにした。 3. 個人の所有する資産総額を基準とし、身分に応じて金銭を納めるようにした。 4. 土地の面積を基準とし、その土地で採れた作物の3%を現物で納めるようにした。
- 問10 江戸幕府が倒れたあと、明治政府は「明治維新」と呼ばれる大規模な改革を推し進めました。政府がこのような急速な日本の近代化を必要とした背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 鎖国体制をより強固なものにし、外国の影響を排除した独自の文化を守るため 2. 武士が中心となる身分制度を再編し、江戸幕府の支配体制を復活させるため 3. 欧米列強の進出に対抗できる国力を備え、日本の独立を維持するため 4. 地方の諸藩が持つ自治権を強化し、それぞれの地域が独立して政治を行うため
- 問11 1879年に明治政府が軍隊を派遣し、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した背景や目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため 2. 鹿児島県の一部であった琉球を分離させ、住民の自治権を拡大するため 3. 琉球王国による独自の貿易を奨励し、アジア全体との経済交流を深めるため 4. 欧米列強の進出を防ぐため、琉球を日本から独立した中立地帯にするため
- 問12 明治政府が、衣食住の西洋化をはじめとする文明開化を推進した背景には、どのような政治的な目的がありましたか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 日本が近代的な文明国であることを欧米に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため 2. 海外からの輸入品を制限し、国内の伝統的な絹織物産業を保護するため 3. 封建的な身分制度を維持するために、武士と平民の生活様式を明確に区別するため 4. 江戸時代から続く伝統的な仏教勢力を排除し、キリスト教を国教化するため
- 問13 「王政復古の大号令」の宣言によって政治的立場を失うことに不満を持った旧幕府勢力が、新政府軍と武力衝突するに至った歴史的背景を持つ出来事はどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. 甲午農民戦争 2. 下関戦争 3. 西南戦争 4. 戊辰戦争
- 問14 明治政府が「文明開化」という社会現象を後押しし、急速な西洋化を進めた大きな目的は何ですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 2. 江戸時代の伝統文化を完全に消し去り、天皇の権威を否定するため。 3. 隣接するアジア諸国との友好関係を深め、東アジア共通の文化圏を創るため。 4. 農業を国の中心産業に据え、農民の生活を安定させて一揆を防ぐため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問2	答え 4 X：会議、Y：公論	五箇条の御誓文は、明治維新の基本方針を定めた史料です。第一条の「会議」と「公論」という言葉は、身分や特定の藩にこだわらず、広く有能な人材の意見を聞いて政治を行うことを約束したもので、のちの自由民権運動において「国会を開設せよ」と主張する際の根拠としても引用されました。
問3	答え 4 征韓論	明治初期、新政府の内部では朝鮮への対応を巡る議論が活発化しました。西郷隆盛や板垣退助らは、武力行使を辞さない構えで開国を求める「征韓論」を主張しましたが、岩倉使節団として欧米を視察し、内政の充実が急務であると痛感した大久保利通らと激しく対立することとなりました。
問4	答え 3 主張が認められなかった西郷隆盛や板垣退助らが政府を去り、のちの不平士族の反乱や自由民権運動へとつながった。	征韓論をめぐる論争に敗れた西郷隆盛や板垣退助らは、明治六年の政変によって政府を去りました。西郷はのちに士族による最大級の反乱である西南戦争へ、板垣は民撰議院設立建白書を提出して自由民権運動へと向かうことになり、明治初期の政治に大きな転換点をもたらしました。
問5	答え 1 沖縄県	1879年、明治政府は琉球藩を廃止し、沖縄県を設置しました。これにより、かつての琉球王国は完全に日本の領土に組み込まれることになりました。鹿児島県は旧薩摩藩であり、江戸時代に琉球を実質的に支配していましたが、琉球処分で設置された県ではありません。
問6	答え 2 基準を収穫量から地価に変更し、納める方法を米から現金に改めた。	明治政府は、天候による豊作・不作に左右されない安定した税収を確保する必要がありました。そのため、収穫高に応じて米を納めるこれまでの仕組みを廃止し、土地の価値である「地価」を基準に、一定の割合を「現金」で納めさせる地租改正を行いました。
問7	答え 4 19世紀	西暦における世紀は、100年単位で区切られます。1801年から1900年までが19世紀に該当するため、1868年はその期間内に含まれます。一般的に西暦の年を100で割り、余りが出る場合は百の位以上の数に1を足すことで世紀を求めることができます。
問8	答え 3 藩を廃止して府や県を設置し、全国を政府が直接支配する仕組みを作った。	1869年の版籍奉還では旧藩主の統治権が形式的に天皇へ返されましたが、1871年の廃藩置県ではさらに踏み込んで藩そのものを廃止しました。これにより、全国が「府」と「県」に再編され、明治政府による統一的な統治が可能となりました。他の選択肢は、版籍奉還、地租改正、徴兵令に関する記述です。
問9	答え 1 土地の価格である地価を基準とし、地主が税を現金で納めるようにした。	江戸時代の年貢は、その年の収穫高（石高）を基準に米などの現物で納められていました。明治政府はこれを大きく改め、土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、土地の価格である「地価」を基準に、一定の税率（当初は3%）を「現金」で納めさせる制度を確立しました。
問10	答え 3 欧米列強の進出に対抗できる国力を備え、日本の独立を維持するため	19世紀、アジア諸国が欧米列強によって植民地化される状況に直面し、日本も同様の脅威を感じていました。そのため、新政府は「富国強兵」を掲げ、政治・経済・軍事の仕組みを西洋にならって近代化させることで、対等な国際的地位を築き、国家の独立を守ることを最大の目的としました。この過程で、幕藩体制は廃止（廃藩置県）され、四民平等による身分制の撤廃など、社会の仕組みが根本から作り直されました。
問11	答え 1 清との宗属関係を断ち切り、日本の領土であることを国内外に明確に示すため	当時の琉球は、日本（薩摩藩）と清（中国）の両方に属するような複雑な立場にありました。明治政府は近代的な主権国家として国境を確定させるため、琉球が清へ朝貢することなどを禁止し、日本の地方行政単位である「沖縄県」を設置することで、日本の主権が及ぶ範囲であることを国際的に宣言しようとしたしました。
問12	答え 1 日本が近代的な文明国であることを欧米に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約（領事裁判権の承認や関税自主権の欠如）の改正は最優先の外交課題でした。欧米諸国から「未開の国」と見なされている限り交渉は進まないと考えた明治政府は、生活習慣や制度を西洋化することで、日本が欧米に肩を並べる近代国家であることをアピールしようとしたしました。
問13	答え 4 戊辰戦争	大政奉還によって政権を返上したものの、依然として強い影響力を持とうとした徳川氏を排除しようとする新政府の動きに対し、旧幕府側が武力で抗議したことがきっかけです。この内戦を通じて新政府の権力が確立されました。
問14	答え 1 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は最大の外交課題でした。政府は、日本の制度や生活様式が欧米並みに近代化されていることを証明することで、対等な立場での条約交渉を目指しました。そのため、鹿鳴館（ろくめいかん）を建設して外国使節を接待するなど、形の上での西洋化も重視されました。